

実績確認概要書

平成 27 年 10 月 15 日

ビューローベリタスジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	ホテル浮羽別館新紫陽におけるヒートポンプの導入による熱源設備の更新
承認番号	KC1315
排出削減事業者名	合資会社ホテル浮羽
排出削減共同実施事業者名	一般社団法人低炭素投資促進機構 (その他関連事業者名：なし)
事業実施場所	ホテル浮羽別館 新紫陽 (住所：大分県日田市天瀬町桜竹瀧の下 357)
事業の概要	既設の吸収式冷温水機を空冷 HP 式チラーユニットに更新し、エネルギー効率を改善することでエネルギー消費量ならびに CO2 排出量を削減する。
排出削減量の計画	<p>【限界電源炭素排出係数の場合】</p> <p>2012 年度 18tCO₂/年 (国内クレジット事業実施期間合計 18 tCO₂)</p> <p>2013～2019年度 各30tCO₂</p> <p>2020年度 17tCO₂ (J-クレジット事業実施期間合計 227 tCO₂)</p> <p>【全電源炭素排出係数の場合(参考地)】</p> <p>2012 年度 16tCO₂/年 (国内クレジット事業実施期間合計 16tCO₂)</p> <p>2013～2019年度 各30tCO₂</p> <p>2020年度 17tCO₂ (J-クレジット事業実施期間合計 227 tCO₂)</p>
クレジット認証期間	開始日 2012 年 11 月 3 日 終了予定日 2020 年 11 月 2 日
排出削減方法論	方法論番号 002 「ヒートポンプの導入による熱源設備の更新」

2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日～2015年3月31日（第2回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	85tCO2 (2013年4月1日～2015年3月31日)
-------	----------------------------------

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること	1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） (第2回実績確認のため、該当なし) 2) 対象期間中の設備稼働確認 導入したヒートポンプは実績確認期間中、継続的に稼働していることを、本実績報告対象期間における電力使用量等により確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。 1) モニタリング方法の確認 審査関係者への質問、電力使用量の集計データ等により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従い、電力使用量のモニタリングが実施されていることを確認した。 2) 活動量の正確性 審査関係者への質問、電力使用量データ等の確認により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、電力使用量の記録・保存が適切になされており、正確に集計されていることを確認した。

	<p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等が、J-クレジット制度・モニタリング・算定規程(排出削減プロジェクト用)Ver2.2 及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果を根拠資料と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。</p>
<p>算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと</p>	<p>本実績確認の対象期間は、2013 年 4 月 1 日から 2015 年 3 月 31 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2020 年 11 月 2 日を超えないことを確認した。</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）
なし。

6. 特記事項

確認した排出削減量に相当する省エネルギー量について、原油換算 33.2kl であることを確認した。

以上